会報

ちから

ちから会復活!! 会長に杉山成男力

かねてより再発足の気運にあったOBちから会は、十月三十一日に総会を駅南会議で開いたところ、全員の賛同を得て翌十一月一日をもって、再発足することに決定した。

続いて役員の選出、諸事項の決定があり、四方山話に花が咲き十時すぎ散会となった。

決定事項は次の通り。

○役員

会長　杉山成男
副会長　永倉俊蔵
同　影山義也
会計監査　渡辺実
書記　杉山陸男
相談役　朝比奈次郎
同　八木沢安男
同　前川清蔵
同　神田治夫

○名誉会員

丁代顧問　増根健久男
竹田三郎
地田宏

本会功労者

○会合

総会―年二回（一月・七月）
新入歓迎会―年度式当日
月例会―毎月二十七日
（都合による無尽一口二千円）

○会計

・会費―月百円
但半年分以上の一括納付
・入会金―五百円
新年者を対称とする
・慶弔費
結婚―三千円
おめでた―一千円
県外遠征―一千円
（入院又はそれに準ずる場合）
見舞―一千円
おくやみ
本人―五千円
配偶者並び両親―三千円
その他同居の親族（三親等内）―一千円

後日会則を作成の上配付致しますが、とりあえず以上の通り報告致します。

発足にあたり杉山会長は次の様に話していた。

「今までとは装いも新たに再発足する本会の主旨は、土俵を通じての卒業生の結びつきにある。

従って、いわゆる同窓会とは切り離して考えていただきたい。

例えば同僚、仕事の都合で構古にあまり来れない人達とは、とかく関係が少なくなりがちだが、いろいろな話し合いやリクレーション等によって、親睦を深めたい。

たとえいくらかでも、会の蓄えをつくって、少ない経費で有意義なことをやっていく会にしたい。

だんだんとやっていくうちに、自分たちでやろうまたやらなければ出来ないと思うことがあったら、その時にはみんなの力を結集してやっていくべきだからそのために日頃から連絡を密におくことが大切だ。

自分が困っているような時には打ち明けて、みんなでそれを助け合っていく人間的な結びつきをもって行きたい。

寄り合いも飲み喰い騒ぐということをなくして、座談会や研究会をやってくつもりです。

はじめは資金繰りの意味で月の例会で無尽をやっていこうと思う。」

十月例会

27日　影山宅で

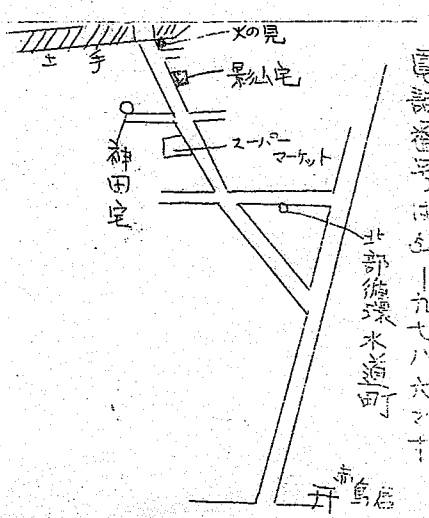
十月の例会は水道町の影山宅をお借りして27日午后6時半より行なう。

はじめての例会でもあるだけに多数御参集下さい。

今回より毎回無尽を実施します。

一口一千円

なお会場費として二百円を御負担下さい。



電話番号は52―九七八六です

ちからチャンネル　渡辺君ゴールイン

いつもかわらぬ智大の持主である渡辺実君（二六）が十一月八日市川彦枝さんと浅間神社において華燭の典をあげられた。

今シーズンはじめより会員間にそのロマンスが伝わり、数々の話題をまいただけに、一同心よりふたりの前途を祝福したい。

新幹線こだまにて西下。京都・布馬・岡山・小豆島をまわり十二日帰静。

新婦についてはおっつけのろけ話で肉がきれることだろうが、十七年の早生まれというから立派大。

（Y）

会報ちからは毎月初二日頃に発行するつもりでいます。

連絡先
静岡市大和町一丁目一九
杉山成男
TEL 85―二六六六
静岡市横田町三丁目三三
渡辺実
TEL 52―二八七二